

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 54 よろこびの日よ	讃美歌 280 わが身ののぞみは
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 レビ記 16:20~22	黙 禱
マタイによる福音書 8:18~22	主の祈り 564
讃美歌 185 きよきみたまよ	讃 詠 545 父のみかみに
説 教 『十字架の山羊、荒れ野の山羊』	祝 禱 後 奏

「雄山羊は彼らのすべての罪責を背負って無人の地に行く。雄山羊は荒れ野に追いやられる(レビ 16:22)」。祭司アロンは、民のすべての罪責と背きをこの雄山羊に負わせて荒れ野に追いやる(16:21)。伝統的な贖罪儀礼は、神殿の聖なる領域で牛や羊を屠ることではなかったか(16:6)。確かにそうだが、その他に二匹の雄山羊も使う(16:7)。一匹はその場で屠り(16:9)、もう一匹は「贖いの儀式を行い、荒れ野のアザゼルのもとへ追いやるためのものとする(16:10)」。群れに密着した羊では不可能だが。

贖罪の雄山羊に限らず、清めの儀式でも清い鳥二羽を使って(14:4)、一羽を殺し(14:5)、もう一羽を野に放つ(14:7)。こうした意味深い綿密な儀式は、昔の呪術の名残りかもしれない。キリスト教の礼拝形式もうるさく言い出すと、神を動かそうとする呪術へ傾く。それにしても「荒れ野のアザゼル」とは何か。地名か、人名か、それとも聖なる存在か。文脈から見て人間のことでないだろう。アザゼルという名の謂は「神に対して横柄な者」だが、太古のアニミズム的な自然神の残滓であろうか。

「雄山羊はすべての罪責を背負って無人の地、荒れ野に追いやられる(16:22)」。屠られて贖罪が即座に実現するだけでなく(16:9)、時間をかけて荒れ野を迷い歩かせる贖罪もあるらしい(16:22)。荒れ野をふらふら彷徨い、衰弱していく孤独な山羊。思い浮かべると、妙に胸を打たれる光景だ。私たちキリスト者にとっての贖罪はイエスの十字架だが、改めて考えてみると十字架は、イエスお一人に人々の罪責を背負わせ、「荒れ野に追いやった」ような出来事ではなかったか、ともイメージされる。

無条件で深く愛され、十字架で赦され、救われている私たち。このまま村や町に暮らし、主日に礼拝しているだけでいいのだろうか。無人の荒れ野を彷徨う一匹の山羊を想像すると、私も荒れ野に出かけて行き、孤独の内を歩まれているイエス・キリストに、この切なる感謝を何とか伝えたい。

イエスに感銘を受けた律法学者は「先生、あなたがおいでになる所なら、どこへでも従って参ります(8:19)」と申し出た。するとイエスは「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。だが、人の子には枕する所もない(マタイ8:20)」と言った。敷衍してみるなら「私が行く所は荒れ野で、衣食住もままならないよ。それでもついて来るかい」という感じか。彼は律法学者であっても「自分が、自分で」といった力んだ所はなく、率直に「従う」という姿勢。逆に弟子の一人は常識に引きずられて「まず、父を葬りに行かせてください(8:21)」と願う。まずは父の葬り、それが済んでから従う、という順番だ。

「わたしに従いなさい。死んでいる者たちに、自分たちの死者を葬らせなさい(8:22)」。「まず」すべきことは父の葬り(死)ではない。何よりも「まず」命の源であるイエスに従うこと。従うとは「枕する所もない」私自身の荒れ野へ踏み出すこと。そこで、私固有の罪を負っていただく(レビ 16:21)。

私たちを愛し、私たちを何とか救い出そうと、私たちの罪を背負って、イエスは一匹の山羊として十字架で屠られた(16:9)。同時にもう一匹の山羊として、イエスは荒れ野に追いやられている(16:22)。十字架では人間全体の罪が贖われ、荒れ野では私固有の罪が贖われる。「父の葬り」の類に気を取られている場合ではない。教会の中心は十字架だ。ここで私たちは清められ、教会の扉を出る。そしてイエスに従って各々の荒れ野に踏み出す。それからまた十字架へ戻る。息(聖霊)を吐いて、吸うように。

十字架と荒れ野の彷徨 一つの出来事なのだが 二つに分けて思い描いている 問いと答えは一つだが二つに分けて捉えている すると答えは問いに転ずるだろう 問いが尽きることのない十字架
次主日 7/7 は役員会。カレーの日は翌週。7/14 は山梨分区の講壇交換で李牧師(日下部教会)が来訪されるのでこの日にカレーの愛餐。牧師の動き:7/7(水)YMCA で聖書のおはなし。7/8 分区教師会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。